

平成29年度 第1回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：平成29年6月9日（金）

10：00～12：00

場所：海老名市役所7階 704会議室

【出席者】

委員	植松慶子、梅田眞司、栗山明郎、櫻井篤、三部雅世、塩地ひとみ、多久島勲、前野佳三、森田壽、山田信江
事務局	伊藤教育長、岡田部長、金指次長、中込課長、小林課長、押方係長、西海主幹、小藪副主幹、谷田主事補

【社会教育委員の役割について】

事務局：社会教育法、海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会会議規則について説明

【議長・副議長の選出】

議長 … 山田委員

副議長 … 多久島委員

【議事】

（1）平成29年度社会教育関係事業計画について

事務局：学び支援課学び支援係事業計画、教育総務課文化財係事業計画、文化スポーツ課事業計画について説明

～質疑応答～

委員：芸術文化鑑賞会エビナ・プロムナード・コンサートの入場料はいくらか。

事務局：1000円と設定している。

委員：「社会教育団体支援事業」について。ジュニアリーダーへの補助とあるが、今まで支援していなかったのか。

事務局：海老名市子ども会連絡会を通じて市から財政的支援を行っていたが、海老名市子ども会連絡会が解散した時点で休止状態となっていた。様々な市の事業にも協力いただいているため、市としても活動を支援したいと、今回予算化に至った。

委員：ジュニアリーダーについて。年末のクリスマス会や卒業会等にジュニアリーダーにお手伝いいただきとても助かっていると地域から聞いている。予算をつけていただいて、有難いなと思っている。

委員：屋内プール無料開放事業について。保護者として感謝している。対象施設にビナスポが入っていない理由について伺いたい。利用を検討していただきたい。

事務局：北部と運動公園は、以前学校にあったプールと同じ大きさだが、ビナスポのプールは小さい。小学生が水泳に使うには狭いスペースのため、学校の授業でも低学

年しか使っていない。そのため対象外となっている。

委員：学校でのプールの授業はどのように行っているのか。

事務局：学校からバスで移動して授業を行っている。以前は屋外の学校プールで授業を行っていたため、天候により年間2・3回しかできないこともあった。例えば、梅雨で気温が低い場合。小・中学校では、気温と水温を合わせて50℃以上という規定等、安全に授業を行うため様々な基準を設けている。そのため、3ヶ月間水を張っていても授業ではほとんど使えず、授業数が確保できない年が何回もあった。現在の形態にしてからは、屋内プールへ送迎を行うため、規定の回数、年間に必要な授業数が確保できている。

委員：授業内容についてはどうか。

委員：実際に指導している立場で回答したい。学習指導要領では、1～3年生は水に親しむこと、4年生から水泳指導になる。教員としては、天候にかかわらず確実に授業ができること。そして、安全面を考えると、プールには市の委託業者の監視員がいて、非常に助かっている。プールの中で、しっかりと子どもたちはそれぞれ能力別で授業を受けている。

委員：家庭教育学級について。参加する方々の横の繋がり、コミュニケーション等や、保護者が育つというところもあり、重要である。現在家庭教育学級は成人教育委員会が一生懸命やっているが、何か面白い講座をしようと企画し実施しようとした時に、予算的なことで断念してしまうケースがある。予算を増やすことはできないか。

事務局：全体の予算が決まっているため、一つ増やすと一つ減ることになる。様々な工夫はある程度のベースがある中で、活動費に何か足してやっていく、そういう視点で組み替えていってもらいたい。たとえば、PTAと合同で企画を行うなど。各学校の特色を出すための試行錯誤を、皆さんと市P連の方と話していきたい。

委員：文化財について。29年度の最新のものをいただいたが、子どもたちにとって身近なところで地域に愛着をもつものとして良いと思う。この市の人口の中で、国指定の史跡を3つも持っているところはないと思う。文化財の中でしっかり予算をつけて進めていただきたい。

委員：オリンピックに向けて、社会教育的なものでオリンピックに向けて何か考えていることはあるか。

事務局：オリンピックに向けてではないが、イベント時に、様々なスポーツ、新しい種目、ボッチャ等を増やし触れる機会を持てる取り組みをしていきたいと考えている。

委員：若者の活躍に対して、我々社会教育委員も、少しでも役立っていきたいという気持ちを持っている。

事務局：市やオリンピックの強化の指定選手になった場合、支援・助成を行っている。表彰に対し、海老名市出身の選手に対しても表彰できると良いと感じているので、今後、要綱の改正も検討していきたい。

委員：歴史資料収蔵館について。温故館は広いところにきれいな建物で目立つが、ここはあまり人が入っていない。貴重な資料の収集だけではなく、航空写真や昔と今の海老名の違い等、色々な良い企画を行っているのに勿体無いと感じる。もっと

宣伝できないか。また、室内をもっと明るくする、広くする等はできないか。

事務局：既存の施設をリニューアルしているのですが、施設の広さ等についてはある程度制約がでてしまう。ソフト面で努力をしていきたい。入館者数が温故館と比べ少ないのは、交通の便等の関係、展示よりも保存をメインにしている施設ということもある。本年度、タブレットが利用できるようになったので、そういったところでPRしていきたいと考えている。

委員：スポーツ推進委員について。現在、年額での報酬支払いとなっているが、実績ベースでの支払いをするよう改善した方が良い。

事務局：検討する。

委員：学童保育の支援事業について。これから西口にたくさんマンションができて、学童保育も保育園も今のままでは足りないと思う。急に子どもたちが増える可能性もある。

事務局：3つ保育園が新設される。定員の枠を増やすということに努力している。学童の事業所とは常に連携をとっているが、色々と相談して対応を考えていきたい。

委員：学校支援事業について。学校応援団のえびなっ子スクールは、私も邦楽の体験教室という形で関わってきた。他にも地域には様々な活動をされている人がいる。学校応援団の理解・協力のためにもっとPRをしたほうが良い。

事務局：教育委員会としては、1年を通して学校にかかわってもらいたいという考えから、以前のサマースクールという名称から「えびなっ子スクール」という名称に変わっている。応援団のPRについては、貴重なご意見として承らせていただく。

(2) 海老名市立図書館について

事務局より説明

～質疑応答～

委員：図書館利用者にアンケートを実施したが、見ることはできるのか。現在の委託は平成30年度までだが、31年度以降も引き続き契約をするのか。

事務局：アンケートについては、広く公開はしていないが、求めに応じて手続きをすることで提供可能。指定管理者制度を導入して5年間。次の5年間は、改めて事業所を募集する。広く公募する。

委員：有馬図書館の事業で本の福袋貸出がある。読みたい本は自分で求めるが、「何が入っているか、お楽しみ」というのは、面白い企画で希望者があるだろう。

事務局：司書のお勧めの本が入っている。本当に本が好きで、今目的もなく、どんな本を読んでみようかなという人にとっては、とても面白いのではないかと。企画として面白い。

(3) 社会教育計画について

事務局より説明

～質疑応答～

事務局：社会教育計画は、毎年度見直しを行っている。社会教育委員皆さんから意見をいただき、また改訂して次の年にと進めたい。

委員：社会教育計画を持ち帰って目を通し、次回以降に意見を持ち寄りたい。